

連結売上高194億円目標

いであ中期計画 防災・減災対応を強化

いであは1日、2019

年から3カ年の中期経営計画を策定したと発表した。

経営資源を活用し、新規事業の創出や海外事業の拡大を目指すのが柱。国内は頻

発する大規模自然災害を見据え、防災・減災への対応を強化する。海外は政府開

発援助（ODA）案件を中心

に収益力を高める。21年12月期に連結ベースで売上

高194億円（18年12月期184億円）、純利益率5%以上（5・1%）の達成を目指す。

同社は目標に向け▽防災・減災への対応▽環境リスクの低減▽生物多様性・自然

災害関連連などを重点分野に設定した。IoT（モノのインターネット）やロボ

ットといった先端技術を活用し、生産性向上を図る。革

新的な技術を生み出すための人材育成にも注力する。

事業領域のうち、国内は浸水想定区域図の作成業務

などを受注し、国土強靱

（きょうじん）化に貢献する。海洋研究開発機構（J

AMSTEC）らが研究を進める海洋資源開発で蓄積したノウハウを生かす。商

用化を目指すレアアース（希土類）の発掘関連業務で受注体制を強化する。

ICT（情報通信技術）

対応も深化させる。河川改修業務にCIM（コンストラクション・モデリング）を導入し、動植物の生息状況を

可視化する。これにより、環境に配慮しながら効率的な改修工事につなげる考

え。

海外展開は東南アジアや中東を対象に洪水管理や海

洋・沿岸の環境保全などで収益を積み上げる。国内で培った環境技術を駆使し、

国際ニーズに応える。17年に国連で採択された「水銀に関する水俣条約」に基づ

き、高精度連続モニタリングの技術移転や条約履行の

支援に乗り出す。

3カ年の目標をクリアした上で、同社は創立70周年

を迎える23年度に連結売上高200億円、純利益率5%以上の達成を目指す。